

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月25日更新

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	政策部	課長名 内田 秀一郎
	施策	4	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名 坂田 寛之
	基本事業	12	公共交通の利便性の向上		所属班	政策企画班	(内線) 1253
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11465	法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑦

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき策定した合志市地域公共交通計画に定めるさまざまな実証実験を、平成21年度から平成23年度までの3カ年間に亘り、国の補助(1/2)を受けて実施してきた。実証実験の結果、平成24年度から、レターバス、循環バス(2路線)、乗り合いタクシー(3路線)および予約型乗り合いタクシーを本格運行とした。平成24年度は、レターバス増便や老朽化したバス停留所標識の取替え、マイ時刻表の発行等を行い、利用者の利便性の向上を図った。
【業務の流れ】	コミュニティバス運行業務および総合支援委託業務の契約事務、コミュニティバスや乗り合いタクシーの再編及び利用促進策などの審議。利用促進策としてガイドマップの作成配布、レターバス停留所標識作成及び各地区への出前講座等による説明。コミュニティバス運行進行管理(事業者による実績報告や協議会への経過報告など)、実績に基づく運行委託料支払事務
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務)、需用費、役務費、委託料、備品購入費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・合志市における地域公共交通ランドビジョンの必要性や、市財政状況を踏まえ、どこまで市が経費を負担して地域公共交通を維持するのか、運行に関する収支率や運賃改定について市議会や地域公共交通協議会から意見をいただいている。 ・須屋地区へのレターバス乗り入れを求める要望がある。 ・レターバスへの苦情(ダイヤ遅れ等)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・平成24年7月からレターバスを1便増便し利便性の向上を図った。また、利用促進策として、出前講座および市民シンポジウムの開催、ガイドマップの作成・配布等を行った。	・コミュニティバスの運行指針の策定 ・コミュニティバス利用促進策の実施
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア コミュニティバス路線の路線数	本 印刷製本費(携帯版ガイドマップ)の減及び備品購入費の減(レターバス停留所標識を作成しないため)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位) 人
	→ ア 市の人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・円滑に移動できる	(単位) %
	→ ア 「公共交通機関を利用している割合」(市民アンケート調査)
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 市民アンケート調査の「公共交通機関を利用している割合」	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 87,091	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア 本		10	10	9	9	9	9	10	10
② 対象指標	ア 人		10	10	56,829	57,501	57,367	57,925	58,474	59,024
③ 成果指標	ア %		66.1	66.2	66.1	67.6	66.1	66.1	66.1	66.1
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	1,302	1,879	1,400	5,071	1,400	1,300	1,300
		地方債	千円							
		その他	千円	9,656	21,652	4,086	3,493	6,208	5,000	5,000
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	58,593	22,716	42,207	37,960	39,789	38,700	38,700
		(A) 事業費計	千円	69,551	46,247	47,693	46,524	47,397	45,000	45,000
		(A)のうち指定経費	千円	22	45	25	24	24	25	25
		(A)のうち時間外、特勤	千円	22	45	25	24	24	25	25
		正規職員従事人数	人	5	3	6	3	6	6	6
延べ業務時間	時間	1,447	1,267	1,200	1,344	1,200	1,200	1,200		
(B) 人件費計	千円	5,961	5,116	4,845	5,471	4,845	4,845	4,845		
トータルコスト(A)+(B)	千円	75,512	51,363	52,538	51,995	52,242	49,845	49,845		

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 コミュニティバスの利用促進策の取り組みを検討・実施し、利便性を向上させることにより目標達成が見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成24年度からは本格運行としレターバスにおいては当面は現状の運行形態で運行するとされているものの、今後もルート変更及増便等の利便性向上のための取り組みを行うことにより成果の向上を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない⇒【理由】 民間事業者が運行しない区域を運行しているものであり、公共交通空白地域をカバーする事業主体は、現時点では市が実施する以外ない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・運行事業者のコンペ選定による運行経費の削減。 ・運賃収入(運賃値上げ)やその他の広告収入の増収を図ることにより、事業費の削減は可能である。 ・利用促進策の効果等により利用者が増加すれば、運賃収入の増になり運行委託料が削減される。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 限られた業務時間(人件費)を有効に利用できるよう、他の事務事業の効率化を図り、公共交通の充実に直結する本事務事業に業務時間を重点的に配分している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象としているため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 民間バス事業者が運行しない区域において地域公共交通を維持する者は、行政以外にはいない。 しかし、NPOなどが実施主体となり地域公共交通を運営している事例もあるため、今後検討を行う。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>地域公共交通計画で予定していた実証実験は、平成23年度までの本事務事業においてすべて実施した。平成24年度からは本格運行とはするものの、利用定着のため当面は現在の交通体系の運行を行い、利用促進の取り組みを行なうこととした。 なお、平成25年度中にコミュニティバスの運行指針を策定し、コミュニティバスの安定した運行を図る予定。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						